

『部活動の地域移行』通信

～《学校》から《地域》の活動へ～

第3回 越前町部活動地域移行検討委員会 の結果内容(1)について報告します。

◆ 越前町内中学校部活動の実情と地域移行後に目指す姿について

実情

【 少子化による生徒数の減少で、中学校間で活動格差などの問題が発生 】

- ・部活動が少なく、生徒にとって、活動の選択肢が制限されている。
- ・学校単位でのチーム編成に影響が出ている。(合同部活動チームで実施)
- ・中学校によって異なる生徒数規模が、活動数の相違に影響している。
- ・顧問教員の競技経験の有無、部活動指導員数の配置数が異なり、指導内容にも差が発生。

目指す姿

【 子どもたちが継続して、スポーツ・文化活動に触れ合える環境を整備する 】

町内の全中学生にとって…

- ① 平等に活動できる機会を確保すること
 - ② 多様な活動に触れ合える機会を確保すること
- を目指します。

↓ そのために…

- ・本町でも、「**休日の部活動**」から、**段階的な地域移行を進めます**。
- ・**子どもたちの目線に立って**、地域移行を進めます。

◆ 本町の地域移行の考え方について

検討事項	認識・内容・方法
①運営主体	えちぜんスポーツクラブに受け皿を一元化し、公平且つ統一した受入れ体制を整備します。 ※やむを得ない理由があれば、競技によって、各団体が独立して活動する場合があります。
②休日の活動認識	平日の学校部活動の延長ではないものとします。 1. 「専門的な指導を受ける機会」として、学校部活動と同じ競技に参加しても良い 2. 「様々な競技を楽しむ、挑戦する機会」として、学校部活動と異なる競技に参加しても良い 3. 休養するため、休日の活動に参加しなくても良い
③クラブ活動の単位	町内全体を活動単位とします。(朝日中、宮崎中、越前中、織田中の合同練習会のようなイメージです)
④クラブ活動の数	現在、中学校にある部活動種目を基準とし、要望の多い種目の追加を検討します。
⑤受益者負担	費用は受益者(参加者)の負担とします。活動場所への行き来も保護者による送迎を原則とします。
⑥活動場所の確保	中学校、各スポーツ施設を有効的に活用します。
⑦活動への参加制度	平日の部活動は、現状どおり全員参加を推奨します。休日のクラブ活動は、自由参加とします。

この考えを軸として、次回の配信では具体的な進め方について共有させていただきます。

